

新斎場整備運営事業について、下記のとおり公募型プロポーザル方式により事業者を選定するため、次のとおり公告する。

令和 8 年 8 月 10 日

会津若松市長 室井 照平

1 事業の目的

会津若松市斎場は、平成元年の供用開始以降、定期点検や計画的な改修を実施してきたが、供用開始から約 37 年が経過し、火葬炉をはじめとする設備や付属施設の老朽化が進行している。

本事業では、今後、高齢化の進展に伴い想定される火葬需要のピーク時に、安定した運営が実現できるよう会津若松市新斎場を整備するとともに、ＤＢＯ方式により、本施設の設計、建設及び維持管理、運営業務等を一体的に実施することで、民間の創意工夫を促し、効率的かつ効果的な事業実施による質の高いサービスの提供や市の財政負担の軽減を図ることを目的とする。

2 事業の概要

(1) 業務名

会津若松市新斎場整備運営事業

(2) 事業の内容

会津若松市新斎場整備運営事業要求水準書による

(3) 履行期間

契約締結の日から令和 27 年 3 月 31 日まで

(4) 提案上限価格

6,014,550,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）

3 その他

参加資格など本件公募型プロポーザルの詳細については、「会津若松市新斎場整備運営事業募集要項」等による。